

道の駅リニューアル事業（素案）

パブリックコメント（市民意見公募）閲覧用資料

意見募集期間	平成 25 年 8 月 9 日（金）～9 月 6 日（金） ※郵送の場合は、9 月 6 日必着
応募資格	千歳市内に居住、在勤又は在学の方
意見の提出方法	○「意見書」用紙に氏名・住所（法人の場合は、その名称・事務所所在地等の連絡先）・電話番号・ご意見等を漏れなく記載してください。 ○郵便、ファクシミリ、電子メール、意見箱への書面の投函のいずれかによります。 ○記載事項漏れや電話・口頭でのご意見は、提出意見として取り扱わない場合があります。
意見の提出先 問い合わせ先	〒066-8686 千歳市東雲町 2 丁目 34 番地 千歳市 産業振興部主幹（道の駅再整備担当） 電 話 ： 24-3131 内線 679 F A X ： 22-8852 Eメール：michinoeki@city.chitose.hokkaido.jp

意見募集の趣旨

千歳市では、道の駅サーモンパーク千歳の、賑わいづくりや、市内観光施設等との回遊性向上を目指し、リニューアル（再整備）事業に取り組んでいます。

事業の推進に当たり、市民の皆さまからのアイデアやご提案を計画に反映させるため、ご意見を募集します。

「こんな道の駅になったらよいのに」、「こんなことが出来ると利用しやすい」など、道の駅の魅力を高めるためのご意見をお寄せください。

1. 新たな道の駅の「整備コンセプト」、「施設テーマ」

整備コンセプト

清新な川面とそこに躍動する豊かな自然環境や施設機能のバランスに配慮した新たな道の駅と、調和のとれた周辺環境を一体的に堪能できる他にはない空間の提供により、まちなかにいながら安らぎの時間を過ごすことができる、活気ある、にぎわいのある道の駅をめざし、整備コンセプトを設定しました。

清流せせらぐ まちなか にぎわい空間

このコンセプトに基づき、四季折々の楽しいイベントの開催や、人と人とのふれあいによる観光提供という本来道の駅が果たすべき姿を進め、さらには千歳ならではの食の提供に努め、人が集まり、千歳の「人」と「産品」が溢れるにぎわい空間を創出するものとします。

施設テーマ

ひとと自然が織りなすグリーンテラス

○自然を体感できる交流空間

- ・四季を通じて気持ちよく過ごせる空間
- ・道の駅施設から河川敷や千歳サケのふるさと館を楽しく回遊できるような連続的なにぎわいを生む空間
- ・イベント等にあわせて拡張性を持ち、アクセスが可能な開かれた空間

2. 課題と整備項目

課題	整備項目
■誘導サインの設置と情報提供の強化	・市内各路線へのサインの設置
	・施設近隣へのサインの設置
	・道の駅情報提供機能の充実
■利用しやすい駐車場づくり	・駐車場の拡幅やダブルライン化
	・進入路動線の整備

	<ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場の設置
■トイレ等の再整備と利用者ニーズに対応した設備の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの整備
	<ul style="list-style-type: none"> ・授乳室等子育て対応施設の設置
	<ul style="list-style-type: none"> ・ATM 等利便設備の設置
■駅内施設の集約・再整備	<ul style="list-style-type: none"> ・地域振興施設（複合商業施設）の整備
	<ul style="list-style-type: none"> ・フードコートの設置
■千歳農業との連携施設の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・フレッシュマート（農業連携施設）の設置
■道の駅認知施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅入口誘導サインの設置
	<ul style="list-style-type: none"> ・国道 337 号での進入車線の拡幅
■駅内回遊型動線づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・誘導施設やイベントスペースの整備
■河川敷地と道の駅の融合	<ul style="list-style-type: none"> ・河川敷の整備
■全天候型施設整備と施設屋内空間の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・全天候型施設の整備と施設屋内空間の確保
■施設屋外空間の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外イベント空間の確保
	<ul style="list-style-type: none"> ☆隣接地の確保と活用（整備）
■自然エネルギー活用の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・自然エネルギー活用の検討
■道の駅周辺部の活用と連動の検討	<ul style="list-style-type: none"> ☆住吉グランド駐車場の整備

※ 整備項目中、☆については、リニューアルオープン後の利用状況や関係機関等との協議経過を踏まえ、整備の着手を検討します。

3. 整備概要

- (1) 敷地面積 ・・・約 30,000 m²（河川敷含む）
- (2) 地域振興施設（センター施設）面積 ・・・約 1,800 m²
- (3) 概算事業費 ・・・約 11.3 億円（☆を含む）
- (4) 想定入込客数 ・・・約 80 万人
- (5) 供用開始時期 ・・・平成 27 年夏頃（予定）

4. 整備及び管理運営手法

	整備手法	管理運営手法
地域振興施設 (センター施設)	リース方式(設計等を含む)	指定管理者制度
サーモンパーク (地域振興施設を除く)	公設方式	(民間事業者等が道の駅全体の管理運営を行うものです)

5. 平成25年度以降の想定スケジュール

	25年度	26年度	27年度
地域振興施設 (センター施設)	<ul style="list-style-type: none"> リース事業者の募集 設計等 	<ul style="list-style-type: none"> 工事 	<ul style="list-style-type: none"> 供用開始(夏頃)※
サーモンパーク (地域振興施設を除く)	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者の募集 現況測量、外構設計 	<ul style="list-style-type: none"> 工事 	

※ 千歳サケのふるさと館のリニューアルも予定しており、同時オープンを目指しています。

6. 施設の整備機能

休憩機能	駐車場、トイレ、アトリウム、イベント広場、ちびっこ広場(遊具)、河川敷
情報発信機能	案内窓口・情報提供コーナー
地域連携機能	フレッシュマート(農産物直売所)、物販、飲食(レストラン、フードコート、ベーカリーカフェ・ファストフード)、コンビニエンスストア、体験スタジオ、イベント・販売スペース

7. 施設配置図

別紙「道の駅サーモンパーク千歳のリニューアルにおける整備の考え方(案)」参照

道の駅サーモンパーク千歳のリニューアルにおける整備の考え方（案）

■道の駅の整備コンセプト
清流せせらぐ まちなか にぎわい空間

■道の駅の施設テーマ
ひとと自然が織りなすグリーンテラス
 ⇒自然を体感できる交流空間

- 四季を通じて気持ちよく過ごせる空間
- 道の駅内の各施設から河川敷や千歳サケのふるさと館を楽しく回遊できるような連続的にぎわいを生む空間
- イベント等に合わせた拡張性を持ち、アクセスが可能な開かれた空間

■センター施設の整備の考え方

- 【フレッシュマート（農産物直売所）】
 - ・地元の野菜や加工食品などを中心に販売する。
 - ・イベントや企画販売により、通年型の直売所を目指す。
- 【物販】
 - ・千歳産・千歳らしい商品を中心とした品ぞろえによる物販に取り組む。
 - ・部分的に製造ラインを見学できたり、ビデオによる解説や最終工程を体験できるような、見て楽しい店づくりを検討する。
- 【飲食】
 - ・レストラン、フードコート、バーカーキカフェ・ファストフードを計画する。
 - ・地産地消をテーマに、オリジナルかつ幅広いメニューの提供を検討する。
- 【コンビニエンスストア】
 - ・1年間を通じたサービスの提供及び夜間の防犯対策につながる24時間営業を目指す。
- 【トイレ】
 - ・明るく清潔で快適なトイレを整備する。
 - ・利用者の利便性や管理のしやすさに配慮した設計を行う。
 - ・障がい者や子育て世代が利用しやすい多機能型のトイレを検討する。
- 【アトリウム】
 - ・冬期間や雨天時にも利用できる全天候型集客スペースを整備する。
 - ・河川敷の自然を臨むことができる、明るく広々とした空間となるように設計に配慮する。
- 【案内窓口・情報提供コーナー】
 - ・案内人や大型モニターにより、道内・市内の道路、イベント、観光情報を提供する。
 - ・案内機能を充実させる。
- 【体験スタジオ】
 - ・加工体験（料理など）ができる体験スタジオの設置を検討する。

散策路の整備（河川敷内の回遊性の向上、道の駅内の他ゾーンとの連続性を持たせる）



溜まり場
 (交流の場、自然を感じる場)
 展望広場

溜まり場
 (交流の場、自然を感じる場)
 水辺の広場

センター施設の形状や施設内の配置は、整備事業者の提案や実施設計などによって決定する。

■センター施設以外の整備の考え方

- 【河川敷】
 - ・癒しの親水空間となるように、散策路や溜まり場を整備する。
 - ・ベンチ等の設置により、くつろぎ・交流の場とする。
 - ・センター施設やイベント広場と連続性のある空間となるよう配慮する。
- 【広場】
 - イベント広場
 - ・大規模なイベントにも対応できる広さを確保する。
 - ちびっこ広場
 - ・遊具を設置し、子供たちが遊べる空間とする。
 - イベント・販売スペース
 - ・センター施設の前面にイベント・販売スペースを配置し、施設内の物販やフレッシュマートと連動したにぎわいの空間を創出する。
 - リラクゼーションスペース
 - ・静かなゆったりとした空間とする。
- 【駐車場】
 - ・レイアウトの変更や来場者が利用しやすい駐車場を整備する。
 - ・新たに自転車や自動二輪車の駐車スペースを設置する。
 - ・センター施設の近くにバリアフリーに配慮した障がい者用駐車場を配置する。

国道 337 号